



子どもの未来応援基金
平成30年度 事業報告書

地域丸ごと！ 子ども応援プロジェクト！



特定非営利活動法人
POPOLO



夢を、貧困につぶさせない。
子供の未来応援国民運動

子どもの未来応援基金の支援を受け実施しました

地域丸ごと！子ども応援プロジェクト

食事が満足にとれない、という子どもたちがいます。

厚生労働省によると、「子どもの貧困率」は13.9%となっており、子どもの約7人に1人が平均的な所得以下での生活を余儀なくされています。この数値はOECD（経済協力開発機構）加盟国のなかでも高い数値となっており、日本社会の大きな課題として認識されています。

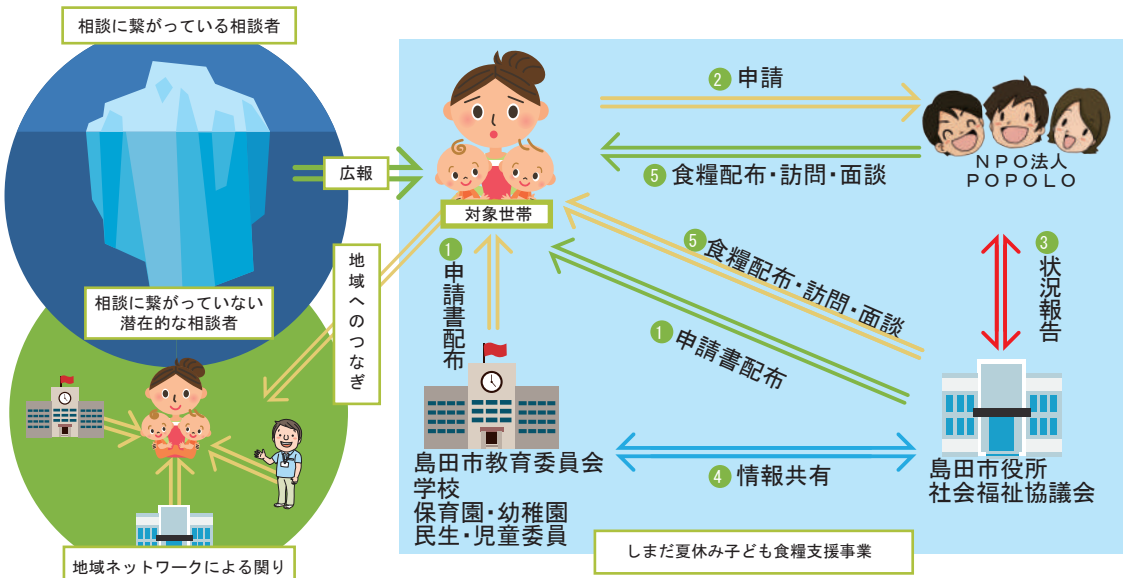
静岡県でも多くの団体や組織が活動しておりますが、今後多様なライフステージを経ていく「子ども」、ひいては「家庭」に対して継続的な支援をしていくためには、総合的かつ長期的な視野に立った支援が必要です。

昨年度「フードバンクがつなぐ子どもの貧困支援ネットワーク」を実施し支援団体・行政・教育機関との関係構築を行い、地域で相談が行いやすい仕組みづくりを行いました。

今年度は支援団体、行政・教育機関より、昨年度以上に発展的で多様なネットワークの構築を行いたいという強い希望もあり、実施をいたしました。

敷居の高い「相談窓口に行く」という行為を、フードバンクという入り口を用意し来所する“きっかけ”“つながり”を作ること敷居を下げ、今後子どものいる家庭が困ったときに気軽に「困った」「助けて」といえる社会になることを、我々は強く望んでいます。

特定非営利活動法人POPOL0一同



目次

1. 事業概要	P1
2. 事業報告	
広報	P2
講演会	P3
「しまだ夏休み子ども食料支援事業」の成果	P4
お礼の声	P7
3. 会員募集	P8



広報活動

「自分以上に生活に困っている人がある」、「地域の人に相談しているところを見られるかもしれない」等、様々な理由により「困った」という声を上げられない世帯に対し、事業の周知を行うため、島田市役所の協力各課と連携を行い、島田市内の幼稚園、保育園、認定保育園、子ども園、小学校、中学校、高校、就学援助世帯を中心に広報を行いました。また、社会福祉協議会・島田市役所福祉課を通じ島田市内の全戸へ周知を行い、人の生活の中心となる駅構内へポスターの掲示をしました。



地域ネットワーク

(課長担当者会議：事業について担当課長、担当者と事業の協議)



地域丸ごと！子ども応援プロジェクト講演会

継続的に地域で事業を継続していくためには地縁組織の理解と協力が不可欠です。

岩手県で類似事業を行っている「NPO法人フードバンク岩手」事務局長阿部知幸様より講演をいただくことで事業の比較を行い、児童養護施設や里親家庭など「社会的養護」の対象となる子どもたち・若者たちへの就労支援を行っている「NPO法人フェアスタート・サポート」代表永岡鉄平様から子どもが青年へと成長する中での地域との関わりと就労支援について講演いただきました。

岩手県で行っている類似事業を参考にし、関わり合いを持っている子どもの「現在」だけではなく、就労し、地域で生活していける「将来」を意識した関りに発展できるよう事業の継続を行っていききたいと思います。



「しまだ夏休み子ども食料支援事業」の成果

申請者の内訳（単位：件）

申請・配布数	2017 年度	2018 年度	増加数
申請件数	74	138	64
配布件数	71	131	60

申請者の状況（条件ごとの分類値）

①子どもの年齢（※申請世帯のすべての子どもで分類しているため配布数以上になります）

未就学児	小学生	中学生	高校生
82 名 （ 56 世帯）	139 名 （ 99 世帯）	58 名 （ 50 世帯）	37 名 （ 32 世帯）

②小学校区分類

（単位：件記載のない小学校区は申請者 0 名※現住所で分類しています）

伊久美	島田第一	島田第二	島田第三	島田第四	島田第五
2	11	9	2	14	16
大津	六合	六合東	初倉	初倉南	金谷
12	23	6	4	10	14
五和	川根	市外			
10	4	1			

③中学校区分類（単位：件 ※現住所で分類しています）

北	島田第一	島田第二	六合	初倉	金谷
2	22	42	28	15	24
川根	市外				
4	1				

④民生委員・児童委員地区分類（単位：件※現住所で分類しています）

第一	第二	第三	第四	六合	初倉
13	9	18	26	29	14
金谷南	金谷北	川根	市外		
13	11	4	1		

協力機関（単位：件 無回答分は含めず）

事業協力機関名	2017 年度	2018 年度	増加数
島田市各課 社会福祉協議会 民生委員児童委員	17	30	13
保育園・幼稚園 こども園 小規模保育施設	26	42	16
小学校	18	18	0
中学校	7	8	1
高校等	0	6	6
企業	0	2	2

市役所・社会福祉協議会への相談の有無（アンケート回収数127件）

市役所、社会福祉協議会への相談したことがあるかどうかをお聞きしました。

名称	あり	なし
市役所	51	76
社会福祉協議会	23	104

うち、市役所・社会福祉協議会のどちらも相談をしたことがない世帯は 69 世帯、相談をしたことがあるという世帯は 16 世帯しかいませんでした。

困った時に頼る人（複数回答）

困った時に頼る人について聞いたところ以下のような結果となりました。9 件の方は地域に相談できる人がいないと回答しています。

家族親族	知人友人	勤務先	病院	近所の人	学校
97	59	17	10	5	13
保育園幼稚園	市役所	社協	民生委員	なし	その他
11	23	8	2	9	1

現在の困り事

なし	仕事	家計	借金債務	住まい	子育て	学力進学
48	21	49	8	4	31	34
病気けが	介護（自身）	介護（子供）	介護（家族）	夫婦仲	将来（生き方）	その他
18	4	5	3	1	7	2

事業の満足度（アンケート回収数127件）

とても助かる	助かる
106	21

協力機関等からのアンケート（アンケート回収数96件）

関わりあいの向上

向上した	昨年度同様	どちらとも いえない	無回答
55	5	34	2

事業の必要性

必要	どちらとも いえない	不要	無記入
76	18	1	1

・その後の関わり

夏休み子ども応援プロジェクトへ申請を行った138件のうち、社会福祉協議会と連携し、38件が継続的な関りが必要な世帯でした。また、8割近い世帯が現在は親族の支えや地域の支えがあるけれども状況の変化により、不安定になる可能性がある世帯でした。

昨年度事業から継続で申請をいただいた世帯もあり、定期的に顔を会わせることによって、困ったときに相談しやすい関係となってきたと感じました。

連携団体数も昨年度より大幅に増え、地域との関わり合いは6割近くが向上していると回答している。また、8割近くが事業が地域に必要であると回答している。



お礼の声

こども応援プロジェクト

はじめてだったのにこんなに
いたたいてびっくりしました。
夏休みは、母の味は、イキで
子供は、うちの中だと、ヤンキー
小僧、この面は、子供
嬉しく思います。あともう、
感謝しています。あともう、
あともう、あともう、

支援して頂ける ご厚意だけでも
ありがたいのに、たくさん食糧で
本当に助かります。
心が温かくなり、色々と頑張ろうと
いう気持ちにもなりました。
子供にもNPO法人のような、いい人
がいるんだということを伝えて
悪い人を見るだけでなく、いい人達を
見てほしいと思います

たくさんの食糧を
お分け頂き、ありがとうございます。
どれも好きなもの
子供たちが
ばかりで嬉しかったです。
食べ盛りの子供たち、たくさん
おいしいご飯を作りたいと思います！
スタッフの方も、親切に
対応して頂きありがとうございます。
ございました♡ 感謝いたします。



サポーターを募集しています！

Q NPO法人POPOLOとは？

A 様々な事情を抱えた方々が、自らの意思で決定し幸せな人生を送れるようになることを目指し、行政・企業・関係団体と連携してワンストップの支援を行っています。

事業の性質上収入が生まれるものではないため、活動を続けていくためにも皆様からのご支援をお願いいたします。

振り込みはお近くの郵便局の振り込み表で下記のように記載ください。

口座番号 00810-3-136229

加入者名 特定非営利活動法人POPOLO

賛助会員の種類

名 称	金 額
個人会員	1口 5,000 円から
法人会員	1口 10,000 円から
学生会員	1口 1,500円 から

NPO法人POPOLO

〒420-0868 静岡市葵区宮ヶ崎町53番地

〒420-0842 静岡市葵区銭座町80-2

〒416-0924 富士市本町4-6 フジスカイビル5F

TEL. 054-254-5718 0545-62-8255/FAX. 0545-77-8565

M a i l: info@npo-popo b.org H P :http://w w w .npo-popo b.org

